

立命館大学数理工学セミナー

来る**1月30日（月）**に立命館大学数理工学セミナーが行われます。数学や物理学の応用に関わるテーマに関して、専門家に分かりやすい講演をお願いしております。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

日時：**2023年1月30日（月） 17:30～19:00**

開催方法：ハイブリッド開催（フォレストハウス F201 での対面開催及び Zoom ミーティングによる配信）を予定。

Zoom 参加の場合、下記の URL より1月29日（日）までにご登録ください。当日お昼ごろに、Zoom ミーティングの URL 等をお知らせいたします。

<https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tJwoceiurzkuGtXS1cpoCTzhAPsuleWS3b2Q>

対面参加を希望される方は、1月27日（金）までに多羅間（dtarama [at] fc.ritsumeai.ac.jp）にご連絡ください。COVID-19 の感染防止のため、対面参加者数が多い場合は適宜人数制限を行いますので、ご了承ください。（COVID-19 の感染状況によっては開催形態を変更する可能性があります。）

講演者：

相川 勇輔 氏

（三菱電機株式会社 情報技術総合研究所）

タイトル：

耐量子計算機暗号の進展

アブストラクト：

量子コンピュータの実現は様々な分野での技術的進歩をもたらすと期待されている一方で、現在私たちが利用している公開鍵暗号の危殆化を招きます。暗号の研究者はそのような状況に対抗するべく量子コンピュータによる暗号解読にも耐えうると期待される、より安全な暗号の研究および標準化を進めています。そのような暗号は総称して耐量子計算機暗号と呼ばれています。今回は、耐量子計算機暗号の一つである同種写像暗号を中心に、これらの最近動向や講演者の研究について、整数論と暗号の関わりという観点からお話させていただきます。

連絡先：多羅間大輔（数理科学科, e-mail: dtarama [at] fc.ritsumeai.ac.jp）